

第3回久御山町環境審議会における主なご質問・ご指摘事項

	No.	委員質問・指摘事項要旨	検討内容	
			対応	説明等
第5章部分	1	【資料1 P39 第5章 基本目標4】 P39の脱炭素経営に取り組む町内事業者数の現状値が「一」となっているが、町内事業者の中には一部上場企業もある中で、1社もないのはおかしいのではないか。	修正	現状値については、現時点の詳細数値が把握できていないことから「一」の表記としており、脱炭素経営に取り組む事業者が「1社もない」ということではありません。 ご指摘のとおり、趣旨が伝わるよう注釈を追加します。
	2	【資料1 P39 第5章 基本目標4】 今後、町内事業者に対する取組を推進するうえで、商工会の意見を聞いて連携を強化して進めてもらいたい。	取組推進	ご指摘のとおり、今後の取組の中で事業者へのアプローチが重要となるため、商工会にご協力をいただきながら、連携を強化して取り組んでいきます。
第6章部分	3	【資料1 P46 第6章（2）再生可能エネルギー・新エネルギー】 P46の一番下の「課題分析」について、再生可能エネルギーの導入量に伸び悩みがあると思うが、その部分の要因分析はされているのか。 また、2030年目標に向けて太陽光発電設備の導入を計画しているのは久御山町だけではないので、将来的に需要を賄うだけの太陽光パネルが本当に手に入るのか。手に入らなければ、設備の価格高騰や施工業者の人手不足などの問題が起こり、設備導入の阻害要因となるが、どのように考えているか。	修正	太陽光発電の導入について、近年伸び悩んでいる要因として、売電価格の下落や設置コスト、その他設置に関する建物自体の問題などが考えられます。今後、太陽光発電等のさらなる導入を促進するためにはPPAモデルでの設置啓発や設備導入に関する各種支援等を検討する旨、文章を修正します。 また、将来的な設備に関する阻害要因等については、技術革新による設置コストの変動や設置事業者の状況等を注視し、適宜対応策を検討します。
	4	【資料1 P46 第6章（2）再生可能エネルギー・新エネルギー】 町内には出荷されなかった野菜が大量に廃棄されているが、それらを利用したバイオマス発電の導入等は検討できないか。	検討	廃棄される作物や食品残渣などを活用したバイオマス発電について、今後の取組の中で検討していくことが必要と考えています。

5	<p>【資料1 P57 第6章1－2 部門別CO₂排出量の削減目標】</p> <p>P57の表の運輸部門の削減見込量は、8千t-CO₂となっており、算定上2,000台を超える車両のEV化が必要になる。また、EV車両に使用する電力も全て再生可能エネルギーにしなければならないと認識しているが、これはかなりハードルが高いと思う。目標達成の見通しやストーリーはどのように考えるか。</p>	検討 推進	EV化の促進だけでなく、その他の取組目標についても非常にハードルの高い目標であると認識しています。そこで、計画策定後のワーキンググループ等で目標達成に向けた各種の方策や取組等を検討し、目標を達成できるよう努めます。
6	<p>【資料1 P58 第6章1－3 ゼロカーボンシティ戦略】</p> <p>省エネ行動の推進で、具体的にどのような行動が省エネにつながるのかを主婦目線で示して欲しい。例えば、冷蔵庫は物を詰めすぎると良くないが、逆に冷凍庫は凍った物を冷やし合うので、たくさん詰めた方が省エネにつながる等を啓発してもらいたい。</p>	検討 推進	<p>計画策定後に実施予定としているプロモーション事業において、具体的な事例を示すなど、「誰が見ても分かりやすい」を意識した情報提供、啓発に取り組んでいきます。</p> <p>(例:「エアコンの温度を1℃あげると月々〇〇円の節約、〇〇kg-CO₂の削減になります」など)</p>
7	<p>【資料1 P60～62 第6章1－3 ゼロカーボンシティ戦略】</p> <p>P60の高効率な省エネ機器に太陽熱温水器の記載があるが、これは再生可能エネルギーそのものであると思うので、P62の【具体的な取組②】再生可能エネルギー等の導入の項目に入るのではないか。</p> <p>また、太陽熱温水器の導入については、価格も比較的安く、化石燃料の削減に対する寄与が大きいので、積極的な導入目標としてもらいたい。</p>	修正	<p>ご指摘のとおり、「太陽熱温水器を導入している割合」の項目をP62の計画目標の項目に移すよう修正します。</p> <p>あわせて、太陽熱温水器の導入目標値を25%に修正します。</p>
8	<p>【資料1 P64 第6章1－3 ゼロカーボンシティ戦略】</p> <p>ソーラーシェアリングは、農地に架台を組んでその上にパネルを設置するため、初期投資が非常に高く、投資費用の回収にも年数を要するものとなっているため、初期投資や導入後のメンテナンスに対して何らかの補助金制度等を検討しないと、導入が進まないと考える。</p>	検討 推進	計画策定後に実施予定としているプロモーション事業において、農業者に対する調査・ヒアリングを行い、ソーラーシェアリングに対する情報提供や求められる施策を調査し、導入促進に向けた取組を検討します。

第6章部分	9 【資料1 P70～72 第6章 1～4 地域脱炭素化促進事業に関する検討】 促進区域の設定について、大まかな時期や工程等に対するスケジュールを示すことはできないか。	検討推進	促進区域については、現時点で検討を始める前の段階であり、今後さらなる調査・研究が必要となることから、計画素案としては現状の記載にとどめる考えとしています。 今後ワーキンググループ等の中で、促進区域の設定に向けた取組を進めていく考えとしています。
	10 【資料1 P73 第6章 第3節地域気候変動適応計画】 P73の表中、「農業生産基盤」において、「農業用ため池」との記載があるが、本町にはため池がないので、この文言は削除してはどうか。	維持	当該文中においては、国の「気候変動影響評価報告書」及び「京都府地球温暖化対策計画」に基づき、本町に関係のあると想定される影響を引用しているため、現状の記載にとどめる考えとしています。
	11 【資料1 P75 第6章 第3節地域気候変動適応計画】 P75の「気候変動に関する分野別適応策」の中に、内水排除対策が出てこないが、久御山町においてはその心配はないということか。	修正	ご指摘のとおり、本町各所において調整池の設置等の内水排除対策に取り組んでいることから、文中に「内水排除対策の推進」を追加します。
第7章部分	12 【資料1 P78 第7章 計画の進行管理】 施策推進ワーキンググループが機能するかどうかが非常に重要だと思うが、いくつかのグループができるというイメージでよいか。 また、計画を進めるうえで「気候市民会議」という手法が普及しているので、久御山町でも取り入れていただきたい。	修正	ワーキンググループについては、コアとなる一つの組織をつくるとともに、テーマに応じて部会等の組織をつくることも想定しています。 また、気候市民会議については、プロモーション事業の中で醸成を図ることが重要であると認識し、P44「基本目標6 環境教育・活動の充実」の「具体的な取組②」人材の育成の項目及びP78「中間支援組織」の項目に紐付けて新たに文言を追記しています。
	13 【資料1 P79 第7章 計画の進行管理】 PDCAサイクルの「CHECK」の部分に「進捗状況の把握、点検」とあるが、これだけで次のアクションに結びつけるのは無理があると思うので、「評価や分析」を追加してはどうか。	修正	ご指摘のとおり、「CHECK」の部分に「取組の評価・分析」を追記します。